皮こする方は、右の長芋の内にて、長芋一尺ほどのかさに、うき粉二十五匁、砂糖二十匁ほどを入れて煉りてつくるべし

○末廣竹の子の拵方

竹の子の、皮をむきて、湯煮よくして、穂さきの方ばかりを、二つ切にたてに切て、細き方を前にして廣き方を向にして、きりかけては、切て、あとにてつらして、末廣の如くして（此仕方は易きことなれば色々にしてさとるべし）鍋に入れ、砂糖、みりん酒、酢を合せて、水少し加へて、鍋に入れ炭火にかけて煮るべし

○砂糖十匁、みりん二匁五分、酢三匁、水二匁五分たけのこ、一本のほさきだけの割にてよし

お正月と子供の教育

東　基吉

お正月がきたといつて、別段違つたことはない筈ではありますが、兎に角正月は物の新らしくなる時として、子供等までが、其樣に信じて居るのでありますから、お正月といふ月は子供の教育にも、大層よい機會を與へてくれるのであります。

「太郎さんは今年からもう學校へ行く樣になるのだから、このお正月からは、朝寢坊をやめて、屹度七時には起きる樣にしますね」と元日早々に言つて聞かせて置くと、確に太郎さんは其積りになつて、七時に起すと、去年までの樣に床の中でぐづ〳〵いはなくなる。

「このお正月で、年が一つふえたのだから、坊はきつくなる、朝起きる時には、もう去年までの樣

に「衣物をあぶつてくれなくちや」などはいはないのだよ」といへば、夫れで以て今迄の衣物をあぶつて着せた習慣も取つて仕舞ふことが出來ませう。

子供を教育する上に、改めてやりたいとは思ひながら、今迄改めさせる事の出來なかつた惡い習慣は、お正月といつて、子供ながらに萬事新になると考へるその觀念を利用して斷然改めさせる樣にしたいと思ひます。

夫と同時に、吾々に取つても、子供の教育に付きて、したいとか、已めたいとか思つて居て、實行の出來なかつた事を決行する機會だと思はれます。

子供の玩具

一度に澤山やるのがよいか、少しづゝ與へるのがよいかと申すと、新らしいものは一度に澤山やらないで一品づゝの方が勿論宜うございます。そして夫が厭いた時分に又一つといふ風にしませんと、一度に澤山やれば、子供ながらにあれこれと迷つて仕舞つて、どれをも十分弄ばないでこはしてしまいます。そして、舊いの〳〵とだん〳〵玩具箱にたまつてきます、子供は其中で一番氣に入つたものを取り出して弄びます。

精巧で從つて代價の高いものは、子供に必要がありませぬ、こんな品は金のある人が、子供を可愛がる自分の心を滿足させる丈けに適當したもので、子供に取つては何の見分もつきませぬ、子供の方からいふと、粗末でも珍らしいのを何度も頂く方が、無論よいのです。

武力細工の電車は、宅の子供が、何よりか一番に